

普及現地情報

発信年月日：令和元年(2019年)8月8日
所属名：湖北農産普及課
番号：G19015
部門分類：340(病害虫・雑草・鳥獣害)
発信者名：松嶋

獣害対策出前講座を開催

野生獣による農作物被害が発生している集落における再発防止対策の実践を図るため、8月5日に米原市朝日集落の獣害対策協議会に対し、獣害対策出前講座を開催しました。また、滋賀県獣害対策アドバイザー、米原市職員も同席されました。

集落ぐるみ対策の実践集落のうち、平成26年度に比べ平成29年度に被害額が増加し、平成29年度の被害額が10万円以上となった16集落の農業組合長を対象に、獣害対策聞き取り調査シートを6月に送付し、状況を把握しました。

このうち朝日集落では、平成22年に設置された電気柵の維持管理の負担増加や野生獣による生活被害への拡大も懸念されたことから、電気柵からワイヤーメッシュ柵(以下：WM)へ変更され、2年間で総延長2,500mを設置される予定です。

出前講座では、WMの設営に関するノウハウを中心に、防護柵の種類と設置方法、集落環境点検について説明したところ、WMの塗装、杭打ちなどに関する質問がありました。また、アドバイザーより、集落の合意形成について助言があり、出席者は非農家も含めた活動の重要性を認識されました。

朝日集落では、10月以降に施工が予定されています。当課では、集落環境点検を実施するなど、今後も再発防止対策の実践を支援します。



スライドによる説明